第20回全国女性消防操法大会 軽可搬ポンプ操法

佐賀県代表

多久市消防団女性消防隊

指揮隊長	諏訪智代美		
指揮者	秋次　万里		
1番員	山田　　彩		
2番員	山田　千春		
3番員	公文　祥子		
4番員	田中　幸子		
補助員	白浜加奈子	隊　員	原　久美子
隊　員	渡　　夕子	隊　員	柴田美由紀

ご指導いただいた多久消防署員のみなさん

警防2課	警防課長	藤島　潤典	消防司令
警防2課	警防係長	田中　義紀	消防司令補
予防指導1課	主査	橋本　　裕	消防司令補

おめでとう　多久市女性消防隊！
全国女性消防操法大会で優良賞受賞
―たくさんの応援、あたたかい声援で見事な活躍―

軽可搬ポンプ操法で▶火点に放水する女性消防隊

▼表彰式で優良賞をもらう秋次指揮者

10月19日、横浜市消防訓練センターで開かれた「第20回全国女性消防操法大会」に、佐賀県代表として出場した多久市女性消防隊が、12位で優良賞を受賞しました。

当日会場は朝からあいにくの曇天。しかも寒ささえ感じる天候での実施でしたが、大勢の応援団も駆けつけ、熱いエールを受けた選手たちは、５月からの訓練の成果を十分に発揮し、見事な操法を披露しました。

長期間厳しい訓練を経験してきた10人の女性隊員の団結力と大会で得た自信は、これから市民のみなさんの安心安全に力となって発揮されることでしょう。

陣内成和多久市消防団団長から　市民のみなさまへ御礼

全国大会で入賞することができ感激しています。女性消防団員が良く頑張ってくれました。

この大会に出場するため多久市消防団の総力を挙げて臨み、選手はもとより指導者、分団長はじめ各団員もよく協力して頑張ってくれました。

また市民のみなさまの温かいご協力やご支援にも深く感謝いたします。ありがとうございました。この貴重な経験を今後の消防団活動に活かしていきたいと思います。

市交際費の支出状況
▶平成23年度９月分

支出種別	区分	件数	金額（円）
弔　慰	今月分	1	5,000
	累　計	48	170,340
見舞い	今月分	1	10,000
	累　計	6	60,000
御　祝	今月分	6	25,000
	累　計	30	156,570
賛　助	今月分	0	0
	累　計	4	19,810
激励金	今月分	0	0
	累　計	1	50,000
接　遇	今月分	1	6,300
	累　計	39	95,200
会　費	今月分	1	3,000
	累　計	14	63,500
その他	今月分	0	0
	累　計	2	6,510
合　計	今月分	10	49,300
	累　計	144	621,930

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ　総務課 秘書係 ☎75－2115

消したはず 決めつけないで もう一度
（平成23年度全国統一標語）

11月９日㈬～15日㈫

秋季全国火災予防運動

火の取り扱いに注意しよう!!

今年も秋季全国火災予防運動が実施されます。近年は５年連続で、住宅火災による死者が1,000人を超えています。このうち65歳以上の高齢者は644人で、前年より16人増加（2.5%）しており、住宅火災による死者（放火自殺者等を除く）数の63.1%を占めています。住宅火災による死者を減らす「切り札」である住宅用火災警報器を設置して、お年寄りや子どもたちをはじめ、一人ひとりが安心して暮らせるまちづくりを実現しましょう。

平成23年、多久市では、建物火災４件、林野火災１件、その他火災１件の火災が発生しています。十分、気をつけましょう。
（10月１日現在）

●『住宅防火 いのちを守る７つのポイント』●

＜３つの習慣＞

①寝たばこは、絶対やめる。
②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
③ガスコンロなどのそばを離れる時は必ず火を消す。

＜４つの対策＞

①逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報機を設置する。（平成23年６月より全ての住宅に設置が義務付けられている）
②寝具や衣料、カーテンからの火災を防ぐため、防炎品を使用する。
③火災を小さいうちに消すため、住宅用消火器等を設置する。
④お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

小・中学生「火災予防ポスター入賞作品展示と表彰式」ご案内

展示会場　中央公民館
展示期間　11月９日～15日
表彰会場　多久消防署
表彰日時　10月29日㈯ 10時～

■問い合わせ　多久消防署 予防指導課　☎75－2191